

## 船舶事故調査報告書

令和3年5月19日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 佐藤 雄二（部会長）  
 委員 田村 兼吉  
 委員 岡本 満喜子

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（令和元年11月27日 04時15分ごろ～08時45分ごろの間）
発生場所	不明（新潟県佐渡市二ツ亀島東方沖）
事故の概要	漁船 <sup>はるかぜ</sup> 春風丸は、船長が落水して溺死した。
事故調査の経過	令和元年12月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 春風丸、4.98トン NG3-7851（漁船登録番号）、個人所有 11.20m(Lr)×2.80m×0.72m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数60、昭和49年10月3日
乗組員等に関する情報	船長 82歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年2月26日 免許証交付日 平成31年1月31日 (令和6年5月31日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	転覆して沈没
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南東～南東、風力 1 海象：海上 平穏、海面水温 約16～17
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、令和元年11月27日04時15分ごろ、底引き網漁の目的で高千 <sup>たかち</sup> 漁港高千地区の係留場所を出発した。 本船は、08時45分ごろ二ツ亀島東方約300m付近で転覆して漂流しているところを付近の住民に発見されて警察署に通報され、海上保安庁の巡視艇及びヘリコプター、僚船等により船長の捜索が行われたものの、船長は発見されず、行方不明となった。 本船は、荒天によりえい航することができず、のちに沈没した。 船長は、12月7日に新潟県胎内市の海岸に漂着しているところを発見され、溺水吸引による窒息（推定）と検案された。

	(付図1 事故発生場所概略図 参照)
その他の事項	本船は、平素、本船の発見場所の北方約4海里(M)で操業していた。
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 船長の死因は、溺水吸引による窒息と推定された。 本船は、船長が1人で乗り組み、27日04時15分ごろ高千漁港高千地区の係留場所を出港した後、08時45分ごろ転覆した状態で発見されたことから、この間において、船長が落水して死亡したものと考えられるが、目撃者がおらず、落水した状況を明らかにすることができなかった。
<b>原因</b>	本事故は、夜間、本船が、高千漁港高千地区を出港した後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。
<b>再発防止策</b>	今後の同種事故等の被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防水型の携帯電話又は防水パックに入れた携帯電話を携行し、非常時の連絡手段を確保しておくこと。</li> <li>・海上における事故等の緊急時には、118番通報を行うこと。</li> </ul>

付図1 事故発生場所概略図

